

2008.7 創刊準備号 vol. 2

# Libra | on

オープニングイベント  
のお知らせ

7月1日  
オープン  
どのイベントに  
行きたい?



インタビュー

延藤安弘氏 「Libra ができるまで」

市民参加による設計から運営までの公共施設づくりは日本初！

リブライオン © SSC

「住民参加のまちづくり」の  
パイオニアが語る  
「Libraができるまで」

延藤安弘氏 インタビュー

普通の自己紹介  
えんどう やすひろ

1940年大阪生まれ。北大建築工学科、京大大学院を経て、生活空間計画学専攻。工学博士。日本におけるコーポラティブ住宅や住民参加型のまちづくり研究・実践の先導者。自ら撮ったスライド写真と名調子による「幻燈会」が各地で大好評。またの名を「まち育ての語り部」。現在、「NPO法人まちの縁創育み隊」代表理事、愛知産業大学大学院教授。

◎ まち育てしりとり自己紹介



「人のつながりが街を育む」  
Libraにおける市民参加のプロセスとこれからの展望

平成16年より始まった、Libraの基本設計市民検討ワークショップ。その後、実施設計・管理運営へと市民参加での話し合いは進み、現在のりぶらサポータークラブ設立準備へ至る。これらの全体的な話し合いの場は、今年の7月で通算24回目になる。

第一回目から、学識者・コーディネーターの立場で参加している延藤安弘さん。同時に、「Libra管理運営協議会準備会」の委員長でもあり、「岡崎市市民公益活動助成金公開審査会」の審査委員も務める。と書くと、とても硬いイメージだが、笑顔が素敵な気さくな方だ。

「この町はオモロイ町やな」というのが、初めて関わったときから今も変わらぬ岡崎への印象である。「市民参加のワークショップにおいて、毎回波風が立つ。自分たちの町は自分で守るという自立・誇りの意識、創造的緊張感に溢れる。対立はエネルギーやからね。予定調和は嘘やな。特に行政が絡んでいる場合は、今、全国的に見て一番面白いのが岡崎。これだけ大規模な公共施設を市民参加で検討し、設計から管理運営まで、継続的に話し合いが4年も続いているのは日本初の出来事やね。世界でも初」

市民参加の公共施設づくりが全国的に盛んになってきた昨今でも、普通は1年程ワークショップをして終わってしまう。建物というハードから運営・使い方というソフト面に話題が移りながら、4年前から今なお継続して市民参加で開館準備が進められているLibraは、とても珍しい事例である。

その日本初の試みが生きていく理由を、彼はこう語る。「まずは市民参加者層の量と質。自由に批判する声を発することができ、フロアからの警告・不安、何が起こるかかわからない状況に対して、行政やコーディネーターが出てはあかんとところに、自然と市民同士で解決していく姿があった。

批判を肥しにし、<何のためなんや>を何度も再確認しながら進むことができた。二つ目は、若手主体であるコーディネーターの存在。普通は40～50代やね。それが20～30代の彼らが、彼ら自身も初めての体験でありながら在来的なことをせず、全回オリジナルプログラムを組んだ。3つ目は行政。ふつう他の自治体ではコロコロと変わる人が変わっていくのに対し、岡崎では市民参加に関わる行政の人々がずっと一緒に、問題意識を持ってやってる人が仕事をやりとげるまで居てるゆうんはありがたい」

かつて、街づくりや公共施設の設計・運営などは行政主体で行われ、市民がそこに関わる機会は無かった。1980年代に世田谷で、「まちの主役は住民」という意識のもとに市



民参加のまちづくりが行われたのが、日本では先駆的事例である。その頃の世田谷の熱気と、今の岡崎の様子が似ていると延藤さんは言う。他領域にわたっての市民活動の展開、発展・育成と、時代の流れ、気運を察知した新しいシステムを自分の地域に応用する様子と同じだそう。

「これから、外部からの評価や外からの光でもって歴史的パースペクティブの中で見つめるとLibraの存在が輝いてくるやろね。

風景や人の動きの連続性の中で、Libraが点ではなく線から面のつながりを持っていくとええなと思う。

川とか駅とかも含めてね。『風土』って言葉があるでしょ。外から来て去っていく風の人>と、ずっと同じ場所に居る土の人>が混ざりあって『風土』は育まれる。僕なんかは岡崎にとって、風の人的コーディネーターやね。たまにフワッと来て外の空気を入れる。人は全て宝を潜在的に眠らせてる存在。眠っている宝を引き出す。眠ってる不安を引き出す。やりとりしながら気づきあう関係を育て、眠ってるアイデアや意識を目覚めさせ、気持ちのつながりを育むことによって、まちは育っていくやね」

今後のLibraに期待することは？「多様に混ざり合って、我流と多流をつないでいけるとええね。とことん考え抜き、とことん必死でやって、何を目指してるんやというのを常に問いつけながら、持ち味を活かしあう『おでん』の様な関係を築けたらええと思うね。違う領域同士の出会いと助まじあいを糧に、メンドクサイことを楽しむスタイルに。Libraもいよいよオープンやから、これからマネージメント力が問われるやろね。どうにかする力、いい状況をつくらうよと応答する力がマネージメント力。がんばってってください」

11月1日(土)から9日(日)まで、Libraの3階会議室で延藤さんの「まち育て絵本コレクション展」が開催される。延藤さんは、絵本が大好きだ。「絵本が創造力の源泉。意表をつく発想が、絵本にはある」。世界各地のまちを調査して歩いた際に、各地域の背後にある住まい方や、都市への市民的価値観の形成は絵本の中にあると気づいたそう。延藤さんの絵本コレクションと、絵本幻燈会をお楽しみに！(詳細:P.8)



# Libra<sup>りぶら</sup>ができるまで

Libraは当初、6つの行政担当課、東京・岡崎の建築事務所が共同となった設計チーム、コーディネーターによって市民参加の公共施設作りが進められました。

岡崎市で市民参加の公共施設設計を行ったのは、これが「よりなん（岡崎市南部地域交流センター）」に次いで2番目です。全国的にも、これだけ大規模な施設作りが、多数の市民参加によって長期にわたり行われているのは初めてのことです。基本設計から実施設計、建物の工事が始まってからは管理運営やより良いサービスというソフト面について話し合ってきました。

そして今、市民の手でできることは何か、ということ話し合い、実行しています。

## 設計ワークショップのおゆみ 2004~2006



W.S.#1 2004.09.19

①設計ワークショップ1回目は、参加者みんなが「期待」と「不安」のつづやきを表明した。

②「この施設がまちを活性化できるか？」

名前もまだ決まっていなかったとき、施設の目標について考え……



W.S.#2 2004.10.03

③敷地模型を前に城北中学生たち。

④敷地タンケン・ハッケン・ホットケン「わぁ、こんなに広いんだ！」



W.S.#3 2004.10.31

⑤こんなところにしたいた。デザインゲームの中で城北中学生たちは「外堀ガーデン」を提案した。（これは後に、全体空間配置の軸となる「お堀通り」を生むキッカケとなった）

どんな施設になったらいいか  
使い方を考えながら、  
部屋と部屋、部屋と外との関係を  
創造し、複数案から、基本設計を決めていった。

⑥子ども・ティーンズのための「おかざき未来ひろば」にしよう！の発表

W.S.#4 2004.11.28



W.S.#5 2005.01.30

⑦設計ワークショップは、参加者全員発言しつつ提案をまとめていくために小グループ毎に、濃密な語り合いがなされていった。⑧配置計画案3つについて討議した後に、「旗揚げアンケート」によってみんなの意向把握をした。



W.S.#6 2005.02.27

⑨とうとう基本設計案模型ができたーそれに見入る子ども・市民・設計者たち



⑩でも、これで「オワリ」ではなく、まだまだ批判や提案のつづやきが重ねられていった

⑪高齢者や障害者の視点からの発表

⑫「周辺地域とのつながり方にもっと工夫を！」



W.S.#7 2005.05.22



⑬「図書館」「活動支援」「文化創造」「交流」の4つのゾーン別の分科会で議論を深めていった。

施設全体の運営理念や空間演出について話し合い、

W.S.#8 2005.06.26



⑭図書館の専門家・小川俊彦先生のレクチャーを通してあらためて図書館のコンセプトと課題を学ぶ。

W.S.#9 2005.08.28



⑮それぞれの場所でどんな活用が予想されるか「使い方物語」を構想しつつ、管理運営上の課題を拾いあげていく。

市民が運営に参加していく仕組みも検討。

W.S.#10 2005.11.20



⑯「<施設がまちに飛び出す>シナケを多様に創意工夫しましょう」

W.S.#11 2006.01.22



W.S.#12 2006.02.19

⑰実際に産生地区をタンケンしつつ「Libra」育みと、まちの元気づくりのつながりの方向感を発見しようワークショップも行われた。

ワークショップ (W.S.) からサポーター交流会へと名前を変え、市民主導のりぶらサポーター活動が始動しました。

⑱図書館について考える市民グループは、各ゾーンがバラバラではなく4つの機能がお互いにつながりあう方向を楽しい寸劇に表現し、参加者に柔らかいイメージを届けた。



サポーター交流会のおゆみ 2006~2008

#1 2006.05.13



施設の建設が進むと共に市民の動きも活発に……

⑱「りぶらサポーター交流会」の始まりは、「握手シャッフル」という笑いがはじける出会いを生み出した。

#2 2006.06.10

#3 2006.07.08

#4 2006.09.09



⑳2006年7月には施設建設工事が着手され、現場見学や敷地の仮囲いへのパネル展示などを行いながら、Libraの誕生を心待ちにしていた。

#5 2006.11.18



㉑市民公募による439作品の中から5つの案に絞られ、投票によりLibraという愛称に決定。投票最終日の市民まつりでは、りぶらサポーターも投票箱を手配し、PRを行った。



㉒「市民主体のまちづくりは、楽しいものでなければ続かない」イベント準備の中で多様な関係が育まれた。

#6 2007.01.20

#7 2007.05.19

#8 2007.06.23

#9 2007.08.25

#10 2007.09.29

㉓再度「使い方物語」をイメージし、共用部分のルールを考える。



㉔「どんな家具がいいだろう」オープンまであと1年ほどとなったとき、より現実的で具体的な提案がなされていった。

㉕「市民が主人公となって、この施設を生き生きと使いつつ、私たちもまちなみになっていこう！」の呼びかけ。



#11 2008.02.16

#12 2008.03.15



㉖託児コーナーでは手作り遊び⑳耳の聞こえの不自由をこえて…(プレLibra交流会にて)



りぶらサポーター主催のイベントも多数催されてきた

#13 2008.05.31

To be continued

虎の城 (上)・(下)

火坂雅志  
祥電社



野望渦巻く戦国乱世。恵まれた身体と槍櫓で、立身出世の夢を抱く「藤堂高虎」の歴史小説であった。

豊臣秀吉の弟「秀長」に仕え、武力一筋から新しい武将のあり方として「兵法、築城術、兵器、金銭の出納」を学び、秀吉の死後徳川家康にその才を高く評価され、幕閣に参加し類稀な先見の明でその名を天下に轟かせた。平和に慣れた現代に生きる私にとって、この戦国時代は興亡の激しい緊張にみちた日々であり、「藤堂高虎」の人生に感動を覚えたはずです。(S.N)

きやあああああああ クモだ!

リディア・モンクス 作  
まつかわゆみ 訳  
評論社



あなたは、クモが好きですか？  
あたし、ひとりぼっちのクモ。人間のペットになりたいの。いろいろ試みてみただ、作戦はすべて裏目に……。でも——ヒョンなことから大成功！「わたし、ほんとうにほんもの、ちゃんとしたペットよ！」たのしく幸せな日々でした。あら……。でも、でも、でもね……。 (あ)

読む  
proto-culture  
聴く  
観る

ダーリンは外国人 with BA BY

小栗左多里&トニー・ラズロ  
メディアファクトリー



国際結婚をした2人が日常をつづり、シリーズを重ねる『ダーリンは外国人』。異なる文化や性格を持った2人が一緒に暮らす日々はこんなに面白い(?)と感じさせてくれる一冊です。本作ではついに2人の間に赤ちゃんが誕生し、いろいろと衝突しながらも話し合って子育てをしていきます。その様子には考えさせられたり、思わず吹き出したり(私も子育て真っ最中!)。でもこれって、夫婦に限らず人付き合いの基本ですね。(の)

その名にちなんで

監督: ミーラー・ナーイル  
出演: カル・ベン、タブー  
原作: ジェン・バラヒリ



ニューヨークに暮らす、インド人夫婦の暮らしぶりは、カルチャーショックや世代間の意識格差(アイデンティティ)などを表現するのにもってこいなのかもしれない。それ以上に、異国や人種を越えた、普遍的な家族の物語として秀作です。アメリカ映画なので、インド映画特有の歌と踊りはないけれど、ここに歌と踊りがプラスされて、3時間の長編になっても違和感はないかも。(e3)

笑う! 遺伝子

一笑って、健康遺伝子スイッチON

村上和雄  
一二三書房



世界に先駆けて、高血圧の原因である酵素「ヒトレニン」の遺伝子暗号を解読した著者が、「笑い」と「健康」の関係も、遺伝子レベルから科学的に解き明かしていく。人間は、プラス思考に努力すれば、必ず遺伝子スイッチがONになり、報われるプログラムが実行される。このプログラムを書いたのは、何者か？  
読み終わった後に、生命の源といえる遺伝子を、もっと身近に感じられる前向きに、そして健康に生きていくことができる一冊一冊です。(NR)

岡崎市図書館交流プラザ開館記念事業

6 岡崎の交流都市

～岡崎市と交流のある都市を  
パトール展やパフォーマンスで紹介～



◆日時/11月03日  
10:00～17:00  
◆場所/1階ホールほか  
◆出演/海風エイサーほか  
◆入場自由

LibraスタジオW.S.+コンサート

～多様なジャンルの地元演奏家による  
ワークショップとコンサート～



◆日時/ワークショップ～11月15日(土)  
コンサート～11月19日(日)  
10:00～17:00  
◆場所/1階スタジオ  
◆出演/小川真美(ピアノ)  
三浦七海(アコースティック)  
森田聖秋(二胡)  
三浦宏之(和太鼓)  
タマトミカ  
バーカッション(ピアノ/ドラム)

Libra灯物語

～みんなで遊ぼう!!岡崎の工芸 きり絵アート～

◆紹介 ◆日時/11月16日(日)  
13:00～17:00  
◆場所/3階会議室301～303  
◆講師/岡崎在住のきり絵作家 藤原香子氏  
◆対象/小学3年生以上  
◆定員/70人で無料  
◆応募/9月1日(月)～19日(土)  
20:00迄  
◆申込方法 詳細を参照してください

経済図書講演会

～経済のプロフessionナカ・高野武氏の岡崎で語り～



◆日時/11月16日(日) 16:00  
◆場所/1階ホール  
◆定員/70人で無料  
当日、整理券を14:00から図書館交流プラザ内で配布

Libraミュージック・フェスティバル

～アマチュアミュージシャンのコンテストとコンサート～



◆日時/11月29日(土)  
13:30～コンテスト  
18:00～コンサート  
◆場所/1階ホール  
◆出演/大須賀さと子、あび、ゆうみ  
◆入場自由

講演・コンサート

1 図書館作家講演会

～徳川家十八代当主・徳川家孝氏講演  
「江戸の遺伝子 岡崎の遺伝子」～



◆日時/11月1日(日) 17:30  
◆場所/1階ホール  
◆定員/70人で無料  
◆応募/9月1日(月)～19日(土)  
20:00迄

2 延藤安弘絵本コレクション展と絵本幻燈会

～愛知産業大学教授延藤安弘氏の絵本展と講座～

◆日時/11月1日(日)～3日(火)  
土・日・祝/9:00～21:00  
平日/10:00～17:00  
◆場所/3階会議室301～303  
◆入場自由

3 おはなし会

～「おはなしの森」による大巻絵本やパトールシアター、紙芝居～

◆日時/11月1日(日)～3日(火)  
11:30～12:30、14:00～15:00  
◆場所/2階子ども図書室  
◆入場自由

朗読劇「おかざきの花さがしさん」

～桜の名所、伊賀川堤の  
桜並木誕生にまつわる話を伝える朗読劇～

◆日時/11月2日(日) 13:30～  
12:30～19:00迄  
◆場所/1階ホール  
◆入場自由

5 平家物語

～語り芝居と狂言による～



◆日時/11月8日(土)  
第1部14:00 第2部18:00  
◆場所/1階ホール  
◆出演/岡崎和彦(語り)  
若佐義文(狂言)  
萩井明美(太鼓)

4 日本ジャズヴォーカルの共演

～日本を代表する  
ヴォーカリストの歌声が響く～



◆日時/11月22日(土) 19:00  
◆場所/1階ホール  
◆出演/後藤芳子(vo)  
上野寿子(vo)、伊藤百子(vo)  
佐藤大祐(tp)、加藤真一(dr)  
村上真(dk)  
◆入場券/4,000円(全席自由)  
◆発売日/8月17日(日)  
チケットぴあ [Pコード297-044]

5 愛知発ジャズミュージシャン・岡崎に集う!!

～岡崎・愛知ゆかりのジャズミュージシャンの共演～



◆日時/11月23日(日) 15:00  
◆場所/1階ホール  
◆出演/ケイコリー(vo)  
藤原向子(vo)  
原田直(tp)、沢村航(tac)  
後藤浩二(gp)、島田健(dj)  
高橋礼音(vo)ら杉田謙次(vo)  
◆入場券/4,000円(全席自由)  
◆発売日/8月17日(日)  
チケットぴあ [Pコード297-046]

チケットぴあ 会0570・02・9999

応募方法 応募は任意ですが、1事業につき1人1回限り  
応募回数に制限あり 応募者多数の場合は抽選  
【お申し込み】 〒444-0055 市内豊牛通4丁目71番地  
図書館交流プラザ(事業名「おはなし」)係  
【全席】(代表者にO印)1グループ1人まで(氏名・年齢・  
代表者の住所・電話番号)を記載  
【お申し込み】 代表者の郵便番号・住所・氏名  
※ご記入いただいたお申し込みは、「個人情報の取扱いに関する法  
律」に基づき、応募された事業以外に使用することはありません。

JAZZ  
Libraオープニング・ジャズ・フェスティバル  
～We Love Dr.Jazz～

Libraホール柿落しコンサート

～日本人で唯一のジャズマスター  
秋吉敏子ピアノソロコンサート～



◆日時/11月1日(日)  
第1部13:00 第2部15:00  
◆場所/1階ホール  
◆定員/各70人で無料  
◆応募/9月1日(月)～19日(土)  
20:00迄

2 ドリームセッションI

～ジャズ界の  
ビッグアーティストが生う夢の共演～



◆日時/11月03日(日)  
第1部6:30 第2部19:00  
◆場所/1階ホール  
◆出演/日野明正(tp)  
藤原向子(vo)、内田洋子(dr)  
渡辺淳夫(sax)、幸島文彦(gp)  
植草隆夫(dr)、菊池寛(ck)  
◆入場券/4,000円(全席自由)  
◆発売日/8月1日(日)  
チケットぴあ [Pコード296-051]

3 ドリームセッションII

～Dr.Jazzの仲間たちによるジャズの宴～



◆日時/11月21日(日) 19:00  
◆場所/1階ホール  
◆出演/飯田明(ck)、  
藤原向子(vo)、田中慎正(gp)  
吉野弘志(dr)、島田健(ck)  
◆入場券/4,000円(全席自由)  
◆発売日/8月17日(日)  
チケットぴあ [Pコード297-042]



【白丸合わせ】図書館交流プラザ 公23・3100

りぶらオープニング記念 チケット発売開始!!

夏休み昔の遊び  
フェスタ

7月27日(日)

場所:よりなん  
時間:10:00~16:00



よりなん全館と前田公園を使って、地域の方々に昔ながらの遊びを教えてください！  
竹水鉄砲や万華鏡、お手玉、風車などを自分達で作って遊んだり、コマ回し、竹とんぼ…その他いろいろな昔遊びの体験をすることができます。  
流しそうめんや綿菓子もありますよ。

お問い合わせ

よりなん  
岡崎市南部地域交流センター  
0564-59-3600

なごみん横丁

8月5日(火)  
~8月9日(土)

(LibraPRキャラバンは9日のみです)

場所:なごみん3階  
時間:13:00~16:00



なごみん横丁は、6歳から15歳までの子どもだけが運営する「小さなまち」です。5日間だけ存在する、この子どものまちでは、住民登録をし、働いて、「じゃん」という通貨のお金を貰います。お金を貯めて自分の好きなお店を出すこともできます。選挙や議会では横丁のまちづくりについて政策を決めます。  
子どもは時間を忘れて、遊び、働き、学びます。

お問い合わせ

なごみん  
岡崎市北部地域交流センター  
0564-66-8251

やはぎかん  
子どもの街

8月24日(日)

場所:やはぎかん  
時間:10:00~17:00



的当てゲームや輪投げなどのゲーム遊びと、手作り工作やおもちゃ作り、押し花、パン作りなどの体験教室……地域の方々に協力してもらいながら、楽しさいっぱいの「子どもの街」が実現します。夏休み中の子どもたちが、遊びを通じて創造力や仲間意識を養えたらと思います。

お問い合わせ

やはぎかん  
岡崎市西部地域交流センター  
0564-33-3665

これらのイベントに  
Libra PRキャラバン隊が行きます!

- ペーゴマ大会
- 毛糸で遊ぼう!
- Libraの紹介
- リぶらサポータークラブ入会受付
- その他いろいろ

上記3館でのイベントにおいて、Libraとリぶらサポーター活動の「今まで」と「これから」を紹介します。Libraオープニングイベントに関連した楽しい体験コーナーなどもありますよ!

りぶら  
Libra

ちょっとしたはなし

Libraに関係あるような無いような  
どうでもいいんだけど  
知っているとなんと面白

建物編・・・3

Libraの2階の東端に、活動コーナーがあります。ここは、市民団体向けのフリースペースとなっており、打ち合わせや情報交換・連絡などに使うことができます。パンフレットスタンドやメールBOX、印刷作業室は、もちろん標準装備。  
印刷作業室は、地域交流センターにある作業室の2倍以上の広さがあり、カラーの印刷機もあります!

活動コーナーのオープンスペースに配置される椅子や机は昨年のりぶらサポーター交流会の中で、参加された市民の皆さんの意見を取り入れながら決まったもの。普通の事務用の椅子や机とは違い、オシャレで、使いやすいものとなっています。  
机は多様な形に組み合わせが可能で、椅子もとても座りやすいです。活発な市民活動談義に花が咲きますね。

りぶらサポーター主催のオープニングイベント

11月1日~12月27日

どこ参加しても面白い!  
行かなくても損する2ヶ月間!!

- イベント1 リブライオンを探せ!  
館内に点在するリブライオンを探せ!10個 集めたら小さなカンパッチをプレゼント。
  - イベント2 巨大制作~巨大なパッチワークをみんなで作ろう~  
毛糸のモチーフを繋いで、大きなパッチワーク作品を作ります。  
りぶらにふさわしいデザインをみんなで考えましょう!  
毛糸・編み針を集めています!! 編み物指導のできる方、是非お手伝いを!!
  - イベント3 ユニバーサルツアー~色々な体験をしながら館内を探検しよう~  
車いす・視覚障害 高齢者 子育てを体験しながら館内を回る移動系と、聴覚障害・点訳にふれる滞在系から、好きなものを選んで体験できるよ。
  - イベント4 お茶と音楽と朗読と絵本による憩いの場づくり  
お茶会→マテ茶 抹茶(場合によっては中国茶)+クッキーの飲食など。  
コラボー岡崎出身の詩人の詩の朗読と、弦楽4重奏とハーブの演奏など。
- 11月8日 リぶらサポータークラブ設立フォーラム/幻燈会/設立総会

詳しくは、次号で!

## ほかの図書館は どんな感じでしょう

埼玉県志木市に、小学校、公民館、図書館が融合した複合施設があります。

教室棟と生涯学習棟の2つの棟からなり、教室棟には志木市立志木小学校が、生涯学習棟には「いろは遊学館(公民館)」「いろは遊学図書館」が入居している。

全面ガラス張りの2つの棟は行き来が自由で、教室には壁が無い。通りすがりの市民も気軽に授業の様子を見ることが出来る。

小学校、公民館、図書館はもともとすぐ近くにあり、それぞれ同時に老朽化による建替えが決定。そして「地域と育む学社融合の小学校づくり」を目指していた小学校校長は大胆な発想の転換を行い、学校の中に地域を持ってくることになった。

生涯学習の拠点であると同時に学校教育の

## その8 いろは遊学図書館の場合…

社会化によって、市民とのふれあいの中で子どもたちが知恵や知識と社会性を育むことが期待されている。複合施設全体の中に、児童室、喫茶コーナー、ホール、多目的ホール、工作室、陶芸室、図書館、コンピューターコーナー、体育館、学童保育クラブ、ピオトープなどの施設があり、児童と一般市民とで共有されている。

最初から「学校を複合施設に」という発想が受け入れられた訳ではない。セキュリティの面が一番心配された。もちろん2重3重の対策は講じられているが、「学校は地域のもの」という意識が大切である。日常的に地域の人が気軽に出入りし、児童たちと挨拶を交わし互いに顔見知りになっていることが、何よりも『開かれた学校』を守っている。

## 今後の予定

07/17(木)

託児プロジェクト  
愛知県児童総合センター  
見学

問合せ先：山田 美代子  
0564-57-8067

07/19(土) 20:00~

岡崎図書館未来企画  
定例会

場所：かば山文庫  
問合せ先：戸松 恵美  
0564-53-8153

07/22(火) 10:00~

りぶらサポータークラブ  
設立準備会  
会議

場所：岡崎市役所西庁舎702会議室  
問合せ先：部会事務局 三矢  
0564-45-4560

07/22(火) 13:30~15:30

託児プロジェクト  
定例会

場所：岡崎市役所西庁舎401会議室  
問合せ先：山田 美代子  
0564-57-8067

07/31(木) 13:30~

りぶらサポータークラブ  
オープニングイベント事業  
準備会

場所：岡崎市役所西庁舎501会議室  
問合せ先：部会事務局 三矢  
0564-45-4560

08/01(金) 17:00~21:30

観光夏祭り出店

- ・Libraオリジナル団扇
- ・Libraオープニングイベント  
スケジュールカレンダー配布

場所：籾田公園

### 編集後記

遅くなってしまいましたね。夏ですね。とうとうLibraオープンまで、あと約100日となりました！オープニングに向けて、日々と準備が進んでいます。市民有志によるりぶらサポーター活動も、Libraの誕生を祝うためオープニングイベントとして出来ることを考えたり、開館後により良く使うため検討したりと、活発に動いています。市民団体「りぶらサポータークラブ」設立準備も進めていますので、ぜひ皆さんご入会下さい。

発行・編集：りぶらサポータークラブ設立準備会  
「LibraNews」プロジェクト

問い合わせ先：NPO法人岡崎まち育てセンター・りた 三矢  
TEL: 0564-45-4560 (火・水・木・金 10:00~17:00)  
FAX: 0564-45-1560  
e-mail info@okazaki-lita.com

(件名に「りぶらサポーター活動」を明記ください)